

令和2年学力検査

全 日 制 課 程 A

## 第 3 時 限 問 題

社 会

検査時間 11時20分から12時05分まで

「解答始め」という指示があるまで、次の注意をよく読みなさい。

### 注 意

- (1) 解答用紙は、この問題用紙とは別になっています。
- (2) 「解答始め」という指示で、すぐ受検番号をこの表紙と解答用紙の決められた欄に書きなさい。
- (3) 問題は(1)ページから(10)ページまであります。表紙の裏と(10)ページの次からは白紙になっています。受検番号を記入したあと、問題の各ページを確かめ、不備のある場合は手をあげて申し出なさい。
- (4) 答えは全て解答用紙の決められた欄に書きなさい。
- (5) 印刷の文字が不鮮明なときは、手をあげて質問してもよろしい。
- (6) 「解答やめ」という指示で、書くことをやめ、解答用紙と問題用紙を別々にして机の上に置きなさい。

|      |   |   |
|------|---|---|
| 受検番号 | 第 | 番 |
|------|---|---|

# 社 会

1 次のⅠ、Ⅱ、Ⅲは、それぞれ現在の長野県にあたる地域と関係の深い歴史遺産や遺物の写真と、その説明である。あとの(1)から(3)までの問いに答えなさい。

| Ⅰ  | Ⅱ   | Ⅲ   |
|--|---|---|
| <div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 100%; background-color: #cccccc; display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <p>旧中込学校の写真</p> </div> | <div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 100%; background-color: #cccccc; display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <p>木簡の写真</p> </div> | <div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 100%; background-color: #cccccc; display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <p>甲州ますの写真</p> </div> |
| <p>(説明)</p> <p>これは旧中込学校の写真である。この学校は1872年に政府が公布した(①)を受けて開設され、現在の長野県にあたる地域でも小学校教育が実施されたことがわかる。旧中込学校が開設された<u>当時</u>、東京には教員を養成する学校が開設されていた。</p>                                      | <p>(説明)</p> <p>これは藤原京跡から出土した木簡の写真である。この木簡の記録から、天皇の命令で現在の長野県にあたる地域の産物が都まで運ばれていたことがわかる。この木簡が使われた<u>当時</u>、藤原京では(②)がつくられていた。</p>   | <p>(説明)</p> <p>これは16世紀後半、現在の長野県にあたる地域の一部において使用されていた甲州ますの写真である。甲州ますは京で使われていたますとは異なる容量だった。このますが使用されていた<u>当時</u>、京では足利義昭<small>あしかがよしあき</small>が将軍に就任した。</p>                       |

(1) Ⅰ、Ⅱの説明の中の(①)、(②)にあてはまることばの組み合わせとして最も適切なものを、次のアからエまでの中から選んで、そのかな符号を書きなさい。

- |            |        |            |       |
|------------|--------|------------|-------|
| ア ① 学制,    | ② 大宝律令 | イ ① 学制,    | ② 東大寺 |
| ウ ① 教育基本法, | ② 大宝律令 | エ ① 教育基本法, | ② 東大寺 |

(2) 16世紀に起こった世界のできごとについて述べた文として最も適切なものを、次のアからエまでの中から選んで、そのかな符号を書きなさい。

- |                       |                        |
|-----------------------|------------------------|
| ア イギリスでワットが蒸気機関を改良した。 | イ 地中海を囲む地域をローマ帝国が統一した。 |
| ウ マゼランの船隊が世界一周に成功した。  | エ モンゴル帝国の支配領域が最大となった。  |

(3) 次の文は、Ⅰ、Ⅱ、Ⅲの説明の中で「当時」として示されている時期のいずれかについて述べたものである。文中の  にあてはまる最も適当な文を、Ⅰ、Ⅱ、Ⅲのいずれかの説明の中から、そのまま抜き出して、25字で書きなさい。

この時期の現在の長野県にあたる地域について、他の二つの時期と比べると、説明の中に「」とあることから、天皇を中心とする中央集権的な政治のしくみが十分にはたらいていなかったと考えられる。

2 次のA, B, Cは, 岩手県釜石市に関するできごとの記録を年代の古い順に並べたものであり, I, II, IIIは, 釜石市にある釜石製鉄所に関する資料である。あとの(1)から(3)までの問いに答えなさい。

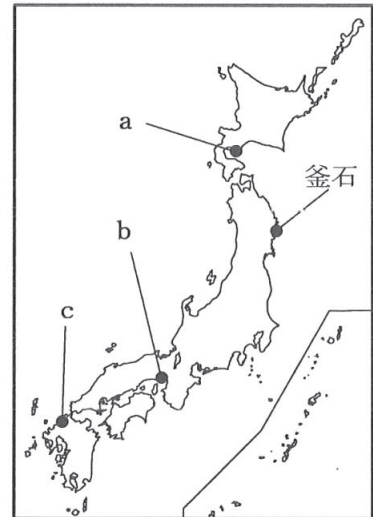
|   |   |
|---|---|
| A | 「ここ大石出河岸を起点に海上引縄をもって真北の海岸佛ヶ崎まで測量した」<br>(「伊能忠敬海上引縄測量之碑」から一部を抜粋)  |
| B | 「アメリカの軍艦が十数せき来て沖から撃った… (中略) …艦砲射撃も終わり六日目、八月十五日終戦となった。… (中略) …釜石は焼野原となった」<br>(釜石市郷土資料館ホームページから一部を抜粋)                         |
| C | 「「三陸鉄道」の名前が初めて登場するのは明治29年にさかのぼります。… (中略) …それから数えること88年後の昭和59年4月1日に、地元の方たちが待ち望んでいた「おらが鉄道」として開業したのでした」 (「東日本大震災と三陸鉄道」から一部を抜粋) |

I 全国および生産拠点別の鉄の生産量 (単位 t)

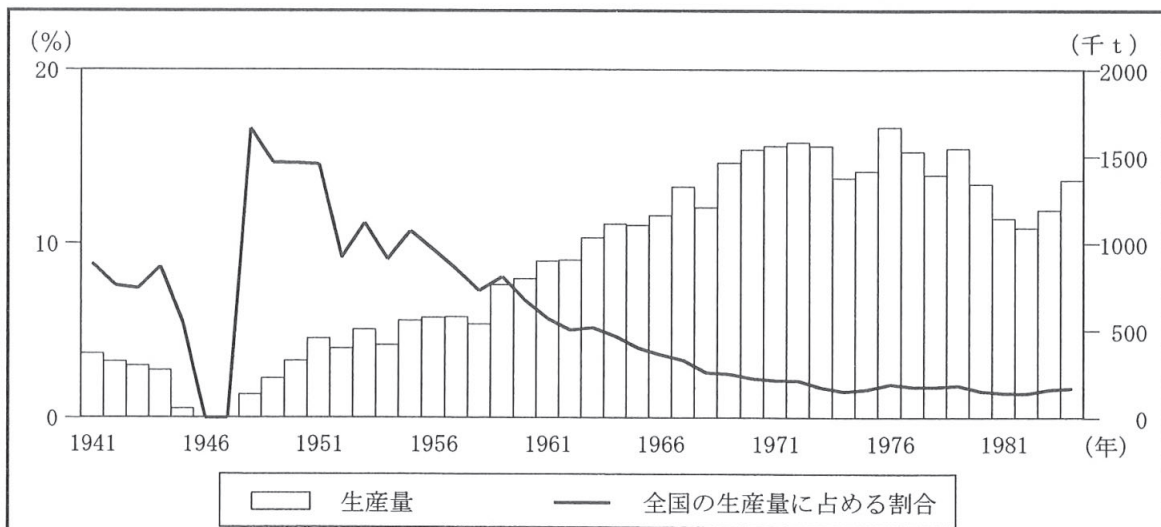
| 年    | 全国      | 中国地方  | 釜石     | ( X )   |
|------|---------|-------|--------|---------|
| 1891 | 15 495  | 8 112 | 5 499  | 0       |
| 1896 | 26 570  | 9 162 | 15 417 | 0       |
| 1901 | 55 180  | 6 398 | 15 037 | 25 338  |
| 1906 | 210 654 | 6 449 | 31 833 | 163 072 |
| 1911 | 394 767 | 3 512 | 53 498 | 312 499 |

(「現代日本産業発達史 鉄鋼」などをもとに作成)

II 略地図



III 釜石製鉄所における鉄の生産量とその全国の生産量に占める割合の推移



(「数字でみる日本の100年 改訂第6版」などをもとに作成)

(1) 次のアからオまでの文は、現在の岩手県にあたる地域に関係するできごとについて述べたものである。このうち、Aの記録のできごとが起こった年代からBの記録のできごとが起こった年代までの間に起こったできごとを三つ選び、それらを年代の古い順に並べたとき、2番目と3番目になるものかな符号をそれぞれ書きなさい。

- ア 盛岡藩が廃止され、盛岡県がおかれた。
- イ 岩手県出身の原敬<sup>はらたかし</sup>が内閣総理大臣に就任した。
- ウ 松尾芭蕉<sup>まつお ばしろう</sup>が中尊寺金色堂を訪れた。
- エ 岩手県に陸上自衛隊の駐屯地が開設された。
- オ 天保の飢饉が発生し、百姓一揆が起きた。

(2) 次の文章は、Bの記録のできごとについて、Iの表を用いて説明したものである。文章中の( X )にあてはまる最も適当な地名を、漢字2字で書きなさい。また、文章中の( X )の位置として最も適当なものを、IIの略地図中のa, b, cの中から選んで、その符号を書きなさい。

なお、Iの表中と文章中の( X )には、同じ地名があてはまる。

Iの表のように、20世紀に入ると日本における鉄の生産の大部分が、欧米の技術を導入した釜石製鉄所や、日清戦争後に設立された官営の( X )製鉄所で行われるようになった。鉄の生産は戦争を続けるためには不可欠であり、アメリカは製鉄所のある釜石に対して、Bに記録されたような攻撃を実施した。

(3) 次の文章は、アメリカとの戦争が始まった年代からCの記録のできごとが起こった年代までの期間の釜石製鉄所について、IIIのグラフを用いて説明したものである。文章中の( ① ), ( ② ), ( ③ )にあてはまる年代やことばの組み合わせとして最も適当なものを、下のアからクまでのの中から選んで、そのかな符号を書きなさい。

IIIのグラフによると、Bの記録のできごとで大きな被害を受けた釜石製鉄所であったが、( ① )には、アメリカとの戦争が始まった年代の生産量を回復した。また、高度経済成長期の前後を比べると、釜石製鉄所の鉄の生産量は増加し、その全国の生産量に占める割合は( ② )した。これは全国が生産量が、この時期に( ③ )したからと考えられる。

- |                       |                       |
|-----------------------|-----------------------|
| ア ① 1951年, ② 上昇, ③ 増加 | イ ① 1951年, ② 低下, ③ 増加 |
| ウ ① 1951年, ② 上昇, ③ 減少 | エ ① 1951年, ② 低下, ③ 減少 |
| オ ① 1971年, ② 上昇, ③ 増加 | カ ① 1971年, ② 低下, ③ 増加 |
| キ ① 1971年, ② 上昇, ③ 減少 | ク ① 1971年, ② 低下, ③ 減少 |

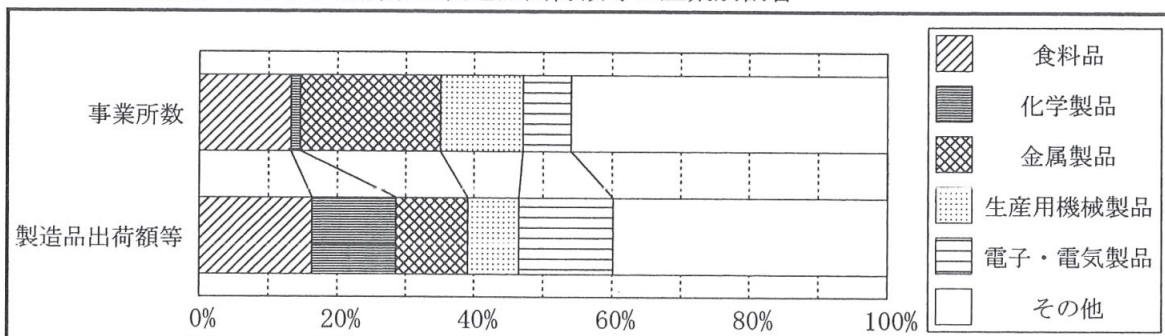
3 次のⅠからⅣまでの資料は、生徒が伝統工芸品についてのレポートを作成するために集めたものの一部である。あとの(1)から(4)までの問いに答えなさい。なお、Ⅰ、Ⅱ、Ⅳの資料中のAからFまでのうち同じ符号には同じ都府県があてはまり、それぞれ愛知県、石川県、沖縄県、京都府、東京都、新潟県のいずれかである。

Ⅰ 経済産業省から伝統工芸品として10品目以上が指定を受けている都府県の人口密度等

| 都府県名 | 品目数 | おもな品目名       | 人口密度<br>(人/km <sup>2</sup> ) | 米の収穫量<br>(千t) | 外国人延べ宿泊者数<br>(千人泊) |
|------|-----|--------------|------------------------------|---------------|--------------------|
| A    | 17  | 江戸べつ甲, 江戸木版画 | 6 218.1                      | 0.6           | 18 060             |
| B    | 17  | ( X )        | 564.9                        | 76.4          | 4 603              |
| C    | 16  | ( Y )        | 181.7                        | 678.6         | 267                |
| D    | 16  | 琉球漆器, 三線     | 631.0                        | 2.3           | 3 860              |
| E    | 14  | 有松・鳴海絞, 常滑焼  | 1 451.2                      | 144.3         | 2 393              |
| F    | 10  | ( Z )        | 274.9                        | 136.7         | 623                |

(「データでみる県勢 2018年版」などをもとに作成)

Ⅱ Cの製造業における事業所数と製造品出荷額等の産業別割合

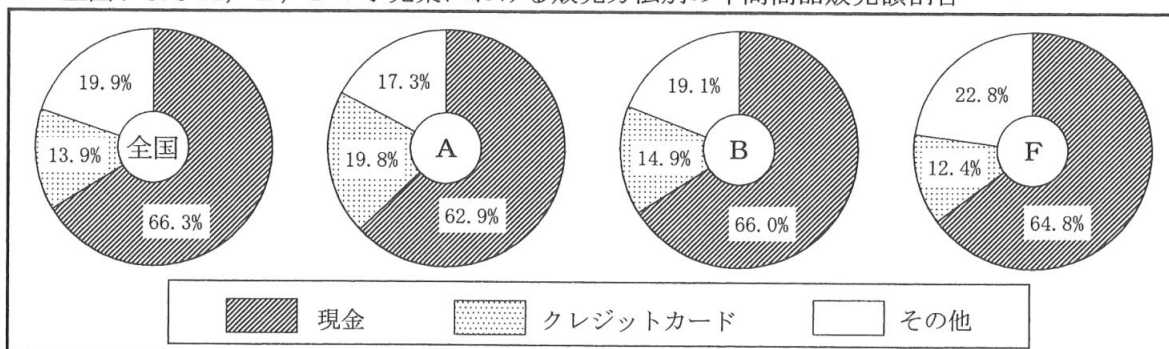


(経済産業省「平成29年度 工業統計調査」をもとに作成)

Ⅲ 伝統工芸品指定の要件 (経済産業省資料より)

- ・ 日本人の生活に密着し、日常生活で使用されるもの
- ・ 主要工程が手作業中心 (手工業的) であるもの
- ・ 技術・技法が100年以上の歴史をもち、今日まで継続しているもの
- ・ 100年以上の歴史をもつ伝統的な原材料を使用したもの
- ・ 一定の地域で、地域産業として成立しているもの

Ⅳ 全国およびA, B, Fの小売業における販売方法別の年間商品販売額割合



(注) 四捨五入の関係で、合計しても100%にならない場合がある。

(「データでみる県勢 2018年版」をもとに作成)

(1) Iの表中の( X ), ( Y ), ( Z )にあてはまる伝統工芸品の品目名として最も適当なものを、次のアからカまでの中からそれぞれ選んで、そのかな符号を書きなさい。

- ア 出雲石燈ろう, 石見焼      イ 薩摩焼, 大島紬      ウ 小千谷縮, 燕鎚起銅器<sup>ついきどうき</sup>  
エ 九谷焼, 輪島塗      オ 西陣織, 清水焼      カ 箱根寄木細工, 小田原漆器

(2) 次の文章は、生徒がCの製造業について、IIのグラフを用いて発表した際のメモの一部である。文章中の  , ( ② ) にあてはまることばの組み合わせとして最も適当なものを、下のアからエまでの中から選んで、そのかな符号を書きなさい。

Cの伝統工芸品の製造は  として受け継がれ、その中でも金属製品産業は今も地域の経済を支えている。金属製品産業については、IIのグラフから化学製品産業よりも一事業所あたりの製造品出荷額等が ( ② ) ことがわかる。

- ア ① 冬季に農作物を栽培できない農家の副業, ② 小さい  
イ ① 冬季に農作物を栽培できない農家の副業, ② 大きい  
ウ ① 長く都がおかれていたという歴史を背景, ② 小さい  
エ ① 長く都がおかれていたという歴史を背景, ② 大きい

(3) 次のアからエまでの文は、生徒が「伝統工芸品の生産を維持するための方策」として発表した意見である。IIIの資料に示された伝統工芸品としての要件を満たしつつ、生産を維持する方策として適当なものを、アからエまでの中から全て選んで、そのかな符号を書きなさい。

- ア 機械生産を導入し、全工程の自動化を進めることによって供給量を増やす。  
イ 海外に工場を設立し、生産費を低くおさえることで販売価格を下げる。  
ウ 伝統的な原材料を継続的に確保できるように、購入費用を国が補助する。  
エ 伝統工芸品の生産技術を伝承し、後継者を育成するための学校を設立する。

(4) 次の文章は、生徒がFの商品販売について、Iの表とIVのグラフを用いて発表した際のメモの一部である。文章中の ( ③ ), ( ④ ) にあてはまることばの組み合わせとして最も適当なものを、下のアからエまでの中から選んで、そのかな符号を書きなさい。

IVのグラフで、クレジットカードによる年間商品販売額の割合を比べてみると、Iの表中の6都府県の中で外国人延べ宿泊者数が上位のA, Bでは、その割合が全国より高く、Fでは、その割合が全国より低くなっている。クレジットカードの利用は、代金が ( ③ ) であること、日本円への両替の必要がないことなど、日本を訪れる外国人にとって利便性が高いと考えられる。Fでは、2015年の ( ④ ) により、今後は外国人観光客のさらなる増加が見込まれるので、クレジットカードが利用できる小売店の拡大に取り組んではどうか。

- ア ③ 先払い, ④ オリンピック・パラリンピックの開催  
イ ③ 先払い, ④ 新幹線の開業  
ウ ③ 後払い, ④ オリンピック・パラリンピックの開催  
エ ③ 後払い, ④ 新幹線の開業

4 次のⅠ、Ⅱの表、Ⅲの略地図は、生徒がインドネシア、コートジボワール、トルコ、メキシコの4国についてのレポートを作成する際にまとめた資料の一部である。あとの(1)から(3)までの問いに答えなさい。

なお、ⅠおよびⅡの表中のA、B、C、Dには、それぞれ同じ符号には同じ国名があてはまる。また、Ⅱの表中の4か所の( X )と2か所の( Y )には、それぞれ同じ符号には同じ国名があてはまり、Ⅲの略地図中のaからdまでは、4国のいずれかの首都の位置を示している。

Ⅰ 4国の農業や食文化

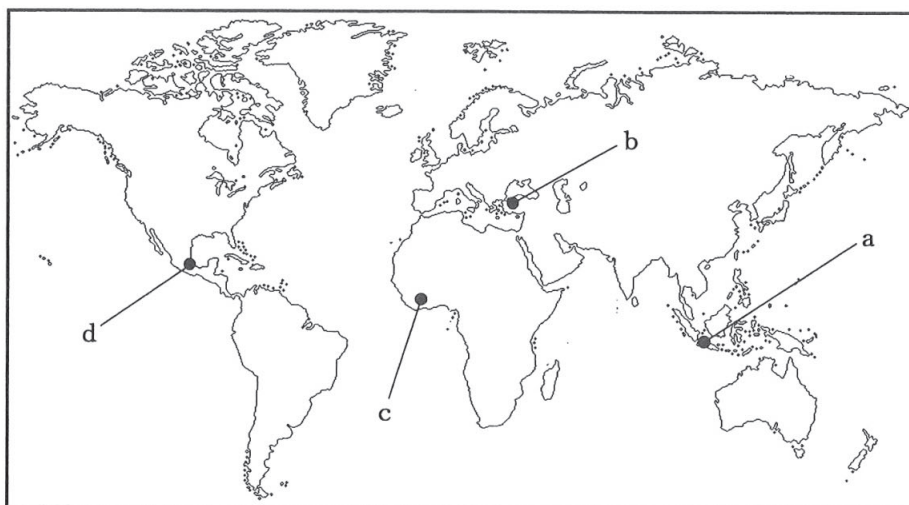
| 国名 | 農業や食文化などについての説明  |
|----|--|
| A  | トウモロコシの栽培がさかんで、食文化にはスペインの影響がみられる。トウモロコシからつくる生地には肉や野菜などをはさんだ料理が有名である。       |
| B  | 米の栽培がさかんで、香辛料の産地としても有名である。人口の多数を占めるイスラム教の信者は、その教えにより( x )を食べることを禁じられている。   |
| C  | アジアとヨーロッパの陸上交易ルート上に位置し、東西の食文化が融合している。米、羊、ヨーグルトやナッツ類などを食材に用い、黒海沿岸では魚介料理も多い。 |
| D  | チョコレートの原料となるカカオの生産・輸出が世界一である。モノカルチャー経済とよばれる( y )に依存する状況から抜け出すことが課題となっている。  |

Ⅱ 4国の相手先別輸出額の上位5か国それぞれが輸出額全体に占める割合(2015年)

| A     |      | B      |      | C     |     | D     |      |
|-------|------|--------|------|-------|-----|-------|------|
| 国名    | (%)  | 国名     | (%)  | 国名    | (%) | 国名    | (%)  |
| ( X ) | 81.2 | 日本     | 12.0 | ( Y ) | 9.3 | オランダ  | 12.1 |
| カナダ   | 2.8  | ( X )  | 10.8 | イギリス  | 7.3 | ( X ) | 8.1  |
| 中国    | 1.3  | 中国     | 10.0 | イラク   | 5.9 | ベルギー  | 6.5  |
| ブラジル  | 1.0  | シンガポール | 8.4  | イタリア  | 4.8 | フランス  | 6.4  |
| コロンビア | 1.0  | インド    | 7.8  | ( X ) | 4.5 | ( Y ) | 6.1  |

(「世界国勢図会 2017/2018年版」などをもとに作成)

Ⅲ 4国の首都の位置を示した略地図



(1) 次の文章は、生徒がⅠの表中のA、Cについて、Ⅱの表とⅢの略地図を用いて発表した際のメモの一部である。文章中の( ① ), ( ② )にあてはまる最も適当な国名を、それぞれカタカナで書きなさい。また、文章中の( ③ ), ( ④ )にあてはまる符号として最も適当なものを、Ⅲの略地図中のaからdまでの中からそれぞれ選んで書きなさい。

Ⅱの表中のXには( ① )が、Yには( ② )があてはまる。AからX、CからYにはそれぞれ多くの労働者が移住しており、Ⅱの表からもそれぞれの2国間の経済的な結びつきの強さがうかがえる。Ⅲの略地図ではAの首都は( ③ )に位置し、Cの首都は( ④ )に位置している。

(2) Ⅰの表中の( x ), ( y )にあてはまることばの組み合わせとして最も適当なものを、次のアからエまでのの中から選んで、そのかな符号を書きなさい。

- ア x 牛肉, y 特定の製品の輸出                      イ x 牛肉, y 国際機関による支援  
ウ x 豚肉, y 特定の製品の輸出                      エ x 豚肉, y 国際機関による支援

(3) 次の資料は、アフリカ州に対する農業支援計画について示したものの一部を要約したものであり、下の表は、この計画の成果を示したものである。資料と表から読み取れることを説明した文として最も適当なものを、あとのアからエまでのの中から選んで、そのかな符号を書きなさい。

(資料)

【支援目標】支援開始時のアフリカ(サハラ砂漠以南)の米の生産量を、2018年までに倍増させる。

(国際協力機構(JICA)「アフリカ稲作振興のための共同体」より)

(表) アフリカ(サハラ砂漠以南)の米の生産量等

|       | 米の生産量<br>(t) | 米の栽培面積<br>(ha) | 米の単位面積あたり<br>収穫量(t/ha) |
|-------|--------------|----------------|------------------------|
| 支援開始時 | 14 246 000   | 7 340 000      | 1.94                   |
| 2016年 | 32 631 892   | z              | 2.11                   |

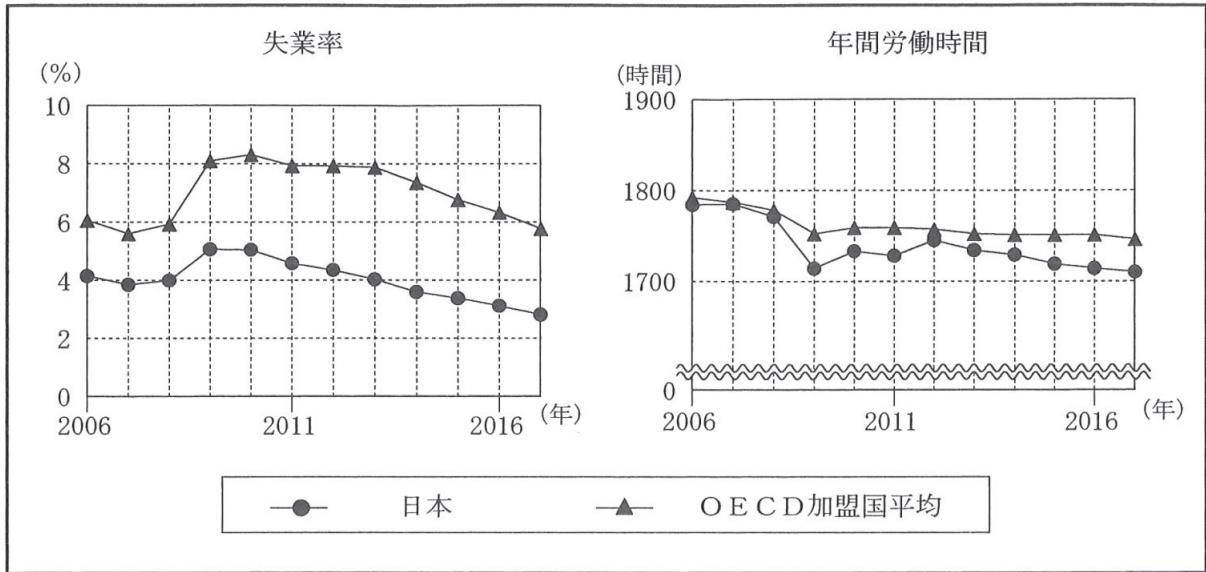
(「FAO STAT」などをもとに作成)

- ア 表中のzにあてはまる数値から考えて、米の生産量は、栽培面積の拡大よりも単位面積あたり収穫量の増大によって増加し、支援目標は計画よりも早く達成された。
- イ 表中のzにあてはまる数値から考えて、米の生産量は、単位面積あたり収穫量の増大よりも栽培面積の拡大によって増加し、支援目標は計画よりも早く達成された。
- ウ 表中のzにあてはまる数値から考えて、米の生産量は、栽培面積の拡大よりも単位面積あたり収穫量の増大によって増加し、支援目標は計画よりも遅れたものの達成された。
- エ 表中のzにあてはまる数値から考えて、米の生産量は、単位面積あたり収穫量の増大よりも栽培面積の拡大によって増加し、支援目標は計画よりも遅れたものの達成された。



5 次のⅠからⅢまでの資料は、生徒が「日本の労働と雇用」についてのレポートを作成するために集めたものの一部である。あとの(1)から(4)までの問いに答えなさい。

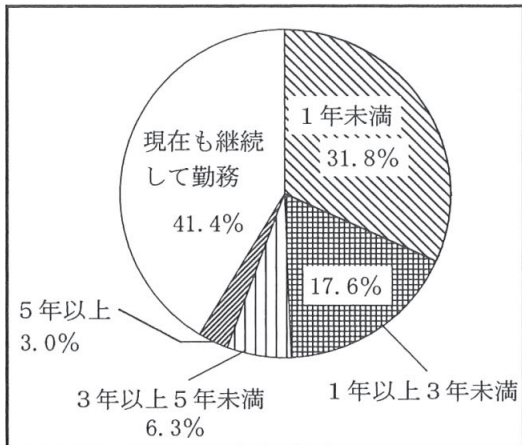
Ⅰ 失業率と年間労働時間の推移



(注)「OECD (経済協力開発機構)」は日本を含む先進国を中心に構成される国際機関で、加盟各国の政策の分析等を行っている。

(OECDホームページをもとに作成)

Ⅱ 若者 (16~29歳) の初職の就職から離職までの継続期間

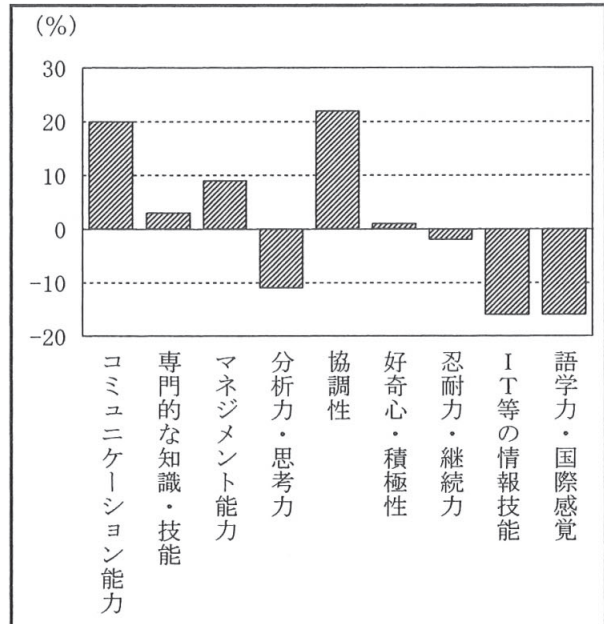


(注)「初職」とは学校等を卒業または中途退学した後の最初の就職先を示している。

四捨五入の関係で、合計しても100%にならない。

(「平成30年版 子供・若者白書」をもとに作成)

Ⅲ 使用者 (企業) と労働者 (正社員) が重要だと考える能力に関して生じている意識の差



(注) それぞれの項目について、使用者が「正社員に向上を求める能力」として回答した割合から労働者が「重要と考える能力」として回答した割合を差し引いた数値を示している。

(「平成30年版 労働経済白書」をもとに作成)

- (1) 次の文章は、生徒がⅠの資料のうち、失業率のグラフを用いて作成したレポートの一部である。文章中の ( ① ), ( ② ) にあてはまることばの組み合わせとして最も適当なものを、下のアからエまでのの中から選んで、そのかな符号を書きなさい。

失業率について、2008年から2009年にかけての変化をみると、日本およびOECD加盟国平均ともに ( ① ) している。このことから、2008年から2009年にかけては ( ② ) であったと考えることができる。

- ア ① 上昇, ② 世界的に好況                      イ ① 上昇, ② 世界的に不況  
ウ ① 低下, ② 世界的に好況                      エ ① 低下, ② 世界的に不況

- (2) 次の文章は、生徒がⅠの資料のうち、年間労働時間のグラフを用いて作成したレポートの一部である。文章中の [ ] にあてはまることばとして最も適当なものを、下のアからエまでのの中から選んで、そのかな符号を書きなさい。

年間労働時間は、景気の動向など、さまざまな要因で増減すると考えられる。近年、日本の年間労働時間がOECD加盟国平均よりも減っている要因の一つとしては、ワーク・ライフ・バランスの実現に向けて、企業が [ ] などの取組を進めていることもあげられる。

- ア 育児や介護にともなう休業の取得促進                      イ オンブズパーソン制度の導入  
ウ 育児・介護休業法の制定    エ インフォームド・コンセントの実施

- (3) 次の文章は、生徒がⅠの資料に関連して、労働者の権利について発表した際のメモの一部である。文章中の ( ③ ), ( ④ ) にあてはまることばと数字の組み合わせとして最も適当なものを、下のアからエまでのの中から選んで、そのかな符号を書きなさい。

賃金や労働時間などの労働条件は労働者と使用者が対等の立場で取り決めることが労働基準法に定められている。しかし、現実には ( ③ ) に対して弱い立場にあるので、この法律では使用者が労働者を解雇する場合に予告が必要であることや、使用者は労働者に1週間について ( ④ ) 時間を超えて労働させてはならないことなども定められている。

- ア ③ 使用者は労働者, ④ 80    イ ③ 使用者は労働者, ④ 40  
ウ ③ 労働者は使用者, ④ 80    エ ③ 労働者は使用者, ④ 40

- (4) 次の文章は、生徒がⅡ, Ⅲのグラフについて発表した際のメモの一部である。文章中の ( ⑤ ), ( ⑥ ) にあてはまることばの組み合わせとして最も適当なものを、下のアからエまでのの中から選んで、そのかな符号を書きなさい。

Ⅱのグラフからは、半数近くの若者が初職を ( ⑤ ) で離職していることがわかる。また、Ⅲのグラフからは、使用者と労働者のそれぞれが仕事の上で重要と考えている能力に違いがあることがわかり、とくに協調性やコミュニケーション能力については、( ⑥ ) よりも仕事の上で重要だと考えている。

- ア ⑤ 1年未満, ⑥ 使用者は労働者    イ ⑤ 1年未満, ⑥ 労働者は使用者  
ウ ⑤ 3年未満, ⑥ 使用者は労働者    エ ⑤ 3年未満, ⑥ 労働者は使用者

- 6 次のⅠ、Ⅱの文章は、参議院におかれていた憲法調査会が日本国憲法について総合的に調査を行った結果をまとめた報告書の一部を抜粋したものである。あとの(1)から(3)までの問いに答えなさい。

Ⅰ 国民主権と民主主義制度の在り方

日本国憲法は、…(中略)…代表民主制を基本とした。直接民主制的制度としては、憲法改正の承認の是非を問う国民投票と、( ) 裁判官の国民審査制とが設けられており、国政レベルでは、憲法解釈として、この二つの場合に限定されると言われている。

現代国家では、決定すべき事項が複雑多岐にわたり、また有権者の数も非常に多いため、直接民主制を採用することは技術的にも著しく困難であると言われてきた。しかし、近時はインターネットが普及するなど、IT技術が著しく進歩し…(中略)…その導入を図ることを積極的<sup>①</sup>に考えるべきとの意見がある。

(注) ○代表民主制＝間接民主制のこと。

Ⅱ 財政

憲法の財政に関する規定は手続的なものを中心で…(中略)…規律条項は置かれていない。現在の財政危機状況にかんがみ、…(中略)…諸外国の例にならい規律条項を検討してはどうか<sup>②</sup>などの意見が出された。

- (1) Ⅰの文章中の( )にあてはまる最も適切なことばを、漢字5字で書きなさい。

- (2) 次の文章は、IT技術の進歩が民主主義制度におよぼす影響について説明したものである。文章中の( X )、( Y )にあてはまることばの組み合わせとして最も適切なものを、下のアからエまでの中から選んで、そのかな符号を書きなさい。

どのような政治制度にも一長一短がある。公正と効率の観点から考えた場合、( X )の短所は、多くの人びとが議論に参加するため、その意見の集約に時間がかかり( Y )の面で課題があるという点にある。しかし、Ⅰの文章はIT技術の活用により、この短所を補うことができる可能性について説明している。

- ア X 直接民主制, Y 公正                      イ X 直接民主制, Y 効率  
ウ X 代表民主制, Y 公正                      エ X 代表民主制, Y 効率

- (3) 財政危機状況について確認するための資料として最も適切なものを、次のアからエまでの中から<sup>②</sup>選んで、そのかな符号を書きなさい。

- ア 毎年の国内総生産を総人口で割った額の推移を示したグラフ  
イ 毎年の歳入に占める間接税と直接税の割合の推移を示したグラフ  
ウ 毎年の国内総生産に対する輸出額と輸入額の割合の推移を示したグラフ  
エ 毎年の歳入に占める国債発行額の割合と国債残高の推移を示したグラフ

(問題はこれで終わりです。)

# 第3時限 社 会

|          |     |  |     |  |   |  |  |  |  |  |
|----------|-----|--|-----|--|---|--|--|--|--|--|
| <b>1</b> | (1) |  | (2) |  | ※1<br><br>1点×2<br>2点×1<br><div style="border: 1px dashed black; width: 100px; height: 40px; margin-top: 10px;"></div> |  |  |  |  |  |
|          | (3) |  |     |  |   |  |  |  |  |  |
|          |     |  |     |  |   |  |  |  |  |  |

|          |     |         |         |   |
|----------|-----|---------|---------|---|
| <b>2</b> | (1) | 2番目 ( ) | 3番目 ( ) | ※2<br><br>1点×3<br><div style="border: 1px dashed black; width: 100px; height: 40px; margin-top: 10px;"></div> |
|          | (2) | 地名 ( )  | 符号 ( )  |   |
|          | (3) |         |         |   |

|          |     |       |       |       |   |
|----------|-----|-------|-------|-------|---|
| <b>3</b> | (1) | X ( ) | Y ( ) | Z ( ) | ※3<br><br>1点×4<br><div style="border: 1px dashed black; width: 100px; height: 40px; margin-top: 10px;"></div> |
|          | (2) |       | (3)   |       |   |
|          | (4) |       |       |       |   |

|          |     |  |   |     |  |
|----------|-----|--|---|-----|--|
| <b>4</b> | (1) | 国名 ① ( )    ② ( )<br><hr style="border-top: 1px dashed black;"/> 符号 ③ ( )    ④ ( ) | ※4<br><br>2点×1<br>1点×2<br><div style="border: 1px dashed black; width: 100px; height: 40px; margin-top: 10px;"></div> |     |  |
|          | (2) |  |   | (3) |  |
|          |     |  |   |     |  |

|          |     |  |     |  |   |
|----------|-----|--|-----|--|---|
| <b>5</b> | (1) |  | (2) |  | ※5<br><br>1点×4<br><div style="border: 1px dashed black; width: 100px; height: 40px; margin-top: 10px;"></div> |
|          | (3) |  | (4) |  |   |

|          |     |  |     |  |   |
|----------|-----|--|-----|--|---|
| <b>6</b> | (1) |  | (2) |  | ※6<br><br>1点×3<br><div style="border: 1px dashed black; width: 100px; height: 40px; margin-top: 10px;"></div> |
|          | (3) |  |     |  |   |

|      |   |   |    |   |
|------|---|---|----|---|
| 受検番号 | 第 | 番 | 得点 | ※ |
|------|---|---|----|---|

(注) ※印欄には何も書かないこと。



|   |     |   |   |   |   |   |     |   |   |   |   |  |
|---|-----|---|---|---|---|---|-----|---|---|---|---|--|
| 1 | (1) | ア |   |   |   |   | (2) | ウ |   |   |   |  |
|   | (3) | 甲 | 州 | ま | す | は | 京   | で | 使 | わ | れ |  |
|   |     | て | い | た | ま | す | と   | は | 異 | な | る |  |
| 容 | 量   | だ | っ | た |   |   |     |   |   |   |   |  |

|   |     |           |  |  |  |           |  |  |  |
|---|-----|-----------|--|--|--|-----------|--|--|--|
| 2 | (1) | 2番目 ( ア ) |  |  |  | 3番目 ( イ ) |  |  |  |
|   | (2) | 地名 ( 八幡 ) |  |  |  | 符号 ( c )  |  |  |  |
|   | (3) | イ         |  |  |  |           |  |  |  |

|   |     |         |  |         |     |         |  |  |
|---|-----|---------|--|---------|-----|---------|--|--|
| 3 | (1) | X ( オ ) |  | Y ( ウ ) |     | Z ( エ ) |  |  |
|   | (2) | ア       |  |         | (3) | ウ , エ   |  |  |
|   | (4) | エ       |  |         |     |         |  |  |

|   |     |               |  |  |  |           |   |  |  |
|---|-----|---------------|--|--|--|-----------|---|--|--|
| 4 | (1) | 国名 ① ( アメリカ ) |  |  |  | ② ( ドイツ ) |   |  |  |
|   |     | 符号 ③ ( d )    |  |  |  | ④ ( b )   |   |  |  |
|   | (2) | ウ             |  |  |  | (3)       | イ |  |  |

|   |     |   |  |  |     |   |  |  |
|---|-----|---|--|--|-----|---|--|--|
| 5 | (1) | イ |  |  | (2) | ア |  |  |
|   | (3) | エ |  |  | (4) | ウ |  |  |

|   |     |       |  |  |  |     |   |  |  |  |
|---|-----|-------|--|--|--|-----|---|--|--|--|
| 6 | (1) | 最高裁判所 |  |  |  | (2) | イ |  |  |  |
|   | (3) | エ     |  |  |  |     |   |  |  |  |